

10年後の目指すべき姿

地下鉄駅などを核に都市機能が集約され、公共交通の利便性も確保されることで、自家用車などでの移動による温室効果ガスの排出量が抑制された持続可能な集約型の都市が構築されています。さらに、豊かな自然と調和することで、みどり豊かで環境負荷の少ない都市が形成されています。

<主な取組>

① 持続可能な集約型の都市への再構築

●低炭素都市への再構築を進めます。

- ・低炭素まちづくり計画の策定に向けた検討を進めます。
- ・集約型の都市への再構築に向け、都市再開発方針を見直します。

●都心や地下鉄駅周辺などに都市機能の集積を促進します。

- ・交流拠点（札幌駅、大通、創世）の整備や創成川以東のまちづくりを推進します。
- ・地下鉄駅周辺などで、生活関連機能の導入などへの支援を行います。



② 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

●公共交通の利用促進を図ります。

- ・駅周辺施設などの利便性向上を図ることなどにより、公共交通の利用を促進します。

●使いやすい地域公共交通体系を確立します。

- ・多様な主体と連携した生活交通を確保する取組などを推進します。

●都心や地下鉄駅周辺の移動の快適性や交通環境の向上を図ります。

- ・路面電車をループ化させるとともに、3地域（都心・創成川以東・桑園）への延伸を検討します。
- ・沿道ビルの地下空間への接続や、空中歩廊・民有地におけるオープンスペースの整備などを促進します。



③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

●生物多様性の保全を推進します。

- ・生物多様性に関する普及啓発を推進します。

●みどりの創出とネットワーク化を推進します。

- ・都心における新たなオープンスペースの創出を図ります。
- ・地域特性や市民ニーズに応じた公園の機能再編・再整備を進めます。

●森林の保全や市街化調整区域の特質を生かした土地利用を進めます。

- ・森林の機能や天然・人工林などの区分に応じた森林管理手法を検討・実施します。

